



みんなでさつまいもを食べました！

今週は各クラスのLife studyの時間に、自分たちで植え、育て、掘ったさつまいもを料理して食べました。 サポーターとしてご参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

1か月前にいも掘りをした際に通信に書きましたが、「うれしい、楽しい、おいしい」という気持ちは、非常に子どもの心を惹きつけ、子どもの心に残ります。

(通信48号「掘ったいもを食べたい！」 <https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9934>)

今回の思い出は、きっと子どもたちが大きくなっても忘れないはずです。すてきな写真が撮れましたのでぜひご覧ください。

他の写真はこちら↓

<https://drive.google.com/drive/folders/1GzDVoXZwykDYEOUAcD9uU0TdMT8AuQkC>





※ 1組の写真は間に合わなかったため、追ってアップロードします。

料理は、素敵な思い出になったり家族への協力の姿勢が身につくのもよい点ですが、算数の学習にもよくつながります。

かさや重さなどを体験的に学べるし、同じ量や数に取り分けることは割り算の概念につながります。〇人分を作るときはかけ算も使うし、材料の買い出しでは足し算、引き算は必須です。とてもおすすめの活動ですので、ぜひご家庭でもお料理に取り組んでみてください。

調理実習の思い出 ～卵焼きとごま油～

私も子どもの時の調理実習のことは今でもよく覚えています。

5年生の調理実習で初めて卵焼きを作った時、先生が用意していたのがごま油だったので、今でも卵焼きはごま油で作るというイメージがあります。

当時の先生の顔や名前は忘れてしまったのに、そんなことを覚えているなんて不思議なものです。

「誰にどう教わったか忘れてとしても、その子の中に残っているものが教育の成果だ」と聞いたことがあります。私にとっての卵焼き作りはまさに教育の成果だと言えます。

2年生の子どもたちが大人になり、いつか私たち教員の顔や名前を忘れてしまっても、それでもその子たちの中に残っているものがたくさんあるように、これからもがんばっていきたいなと思いました。